

年末年始展示イベント「うさぎ」
2011年の干支である「うさぎ」をテーマに、みんぱく収蔵の資料を中心に、世界各地の「うさぎ」にかかわる興味深い情報をパネルなどを使って、紹介いたします。年末年始の一日を、世界の人のひとと「うさぎ」のつながりを知るこの日を楽しんでみませんか？
会期 2月1日(火)まで
会場 本館展示場内

◆関連イベント(参加無料)
実施日 1月10日(月・祝) 無料観覧日
◆みんぱく教員によるキャリアトーク
解説 岩谷洋史機関研究員
時間 ①11時～11時30分②14時～14時30分
場所 本館展示場内

◆ワークショップ
「うさぎを追って世界一周」
展示場で答えを探して、カメラ付き携帯やデジタルカメラで写して来て下さい。参加者には、展示場にはないうさぎ情報が入った「たんけんカードーうさぎ」をプレゼントします。カメラをお持ちでない方も参加可能です。
時間 10時30分～16時30分(受付16時まで)
場所 本館1階エントランスホールおよび本館展示場
※随時受付

◆みんぱくミュージアムパートナーズ(MMP)企画
「おりがみで遊ぼう！干支シリーズ」卯
時間 10時30分から7回実施(各回30分、最終は14時40分)
場所 本館1階エントランスホール
※各回定員10名程度(当日受付)
※小学1年生以上対象
お問い合わせ
情報企画課展示グループ
電話 06・6878・8532
(平日9時～17時)

「春のみんぱくフォーラム2011」
「うさぎの世界へ」
情報をつたえ、感情をあらわし、ひとつなげ、音をたのしむ。ことばにはさまざまな役割があります。そして音声、手話、文字など、それを伝え運ぶための顔も美に多様です。言語展示関連イベント、「春のみんぱくフォーラム2011」ことばの世界へでは、このようにことばへの入口をいくつも用意しました。
会期 1月8日(土)～3月31日(木)

- ◆連続言語講座**
「ことばの世界へ」
世界各地のちよつとめずらしいことばの入門講座。みんぱくの教員が中心になり、90分で完結する講座を23言語で開催します。ぜひチャレンジしてみてください。
- ①「フィンランド語」1月9日(土)
 - ②「ペトナム語」1月10日(月・祝)
 - ③「ブルガリア語」1月16日(日)
 - ④「スワヒリ語」1月22日(土)
 - ⑤「チベット語」1月23日(日)
 - ⑥「タミル語」1月29日(土)
 - ⑦「サン語」1月30日(日)
 - ⑧「タイ語」2月5日(土)
 - ⑨「ルーマニア語」2月6日(日)
- 時間 13時～14時30分
ただし1月22日(土)は11時～12時30分
※2月6日以降も毎週末開催します。
※参加無料、要申込

申込方法
受講希望の方は言語講座名と開催日を明記し、お名前、所属、年齢、連絡先を以下のメールアドレスまでお送り下さい。
sekai.nokotoba@dc.ninpaku.ac.jp
受講希望講座()にお申し込みください。ことばについての予備知識は必要ありませんが、ローマ字が読める高校生以上のかたを対象とします。講座ごとに定員30名に達し次第、締めきります。

◆みんぱく映画会/みんぱくワールドシネマ「タレントタイム」
実施日 1月22日(土)
時間 13時30分～16時20分(開場13時)
場所 講堂
定員 450名
※参加無料、申込不要
※当日10時から会場入口にて整理券配付
お問い合わせ
広報企画室企画連携係
電話 06・6878・8210
(平日9時～17時)

◆公開講演会
「ことばの類型と多様性」
世界には3000とも6000ともいわれる数の言語があります。これらは互いに異なっていますが、共通する点もあります。本シンポジウムでは、ことばの持つ類型・普遍性と多様性を論じ、ことば現象のおもしろさを理解していただきます。
実施日 2月19日(土)
時間 13時～17時
会場 有楽町朝日ホール
定員 600名(先着申込順)
※参加無料、要申込
申込方法
「第14回公開講演会・シンポジウム参加希望」と明記の上、郵便番号、住所、氏名、連絡先電話番号、今後の講演会などのご案内送付希望の有無を記載し、左記までFAXにてご連絡ください。
FAX 06・6878・8479

お問い合わせ
研究協力共同利用係
電話 06・6878・8331
(平日9時～17時)

●アメリカ展示・オセアニア展示場の閉鎖
新しく生まれ変わるアメリカ・オセアニア展示場にご期待ください。
閉鎖期間 3月下旬まで
●休館日・無料観覧日のお知らせ
年始は1月5日(水)まで休館します。
1月10日(月・祝) 成人の日は本館展示を無料で観覧いただけます。ただし自然文化園を通行される場合、入園料が必要です。

みんぱくラジオ「世界を語る」
みんぱくの研究者のお話をラジオでもお楽しみいただけます。
ラジオ大阪(1314kHz)
毎週水曜日 23時30分から24時

毎日新聞夕刊連載「旅・いろいろ地球人」
みんぱくの研究者のエッセイが毎週水曜日に掲載されています。

※詳細については、みんぱくホームページをご覧ください。

刊行物紹介
■土方久功著 須藤健一・清水久夫編
『土方久功日記Ⅱ』
国立民族学博物館調査報告 NO.94

みんぱくホームページ

会場 国立民族学博物館 講堂
時間 13時30分～15時(13時開場)
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示をご覧になる方は、観覧料が必要です)

第392回 1月15日(土)
【新言語展示関連】
みんぱくエスノログ
講師 庄司博史(民族社会学研究部教授)



世界的な言語データベースともいえるエスノログは7000ものことばの話者数、分布、系統や地位などの情報を提供しています。今回、新言語展示では世界各地の言語を画面上で検索し、さまざまな情報を引き出せる装置を開発しました。公用語、民族語、手話なども含めた、みんぱくエスノログを紹介します。



日本の文字は、漢字と仮名を交えて使うところからか、特殊で、むずかしい文字といわれています。本当にそうでしょうか。世界の文字を比べながら、文字の本質とは何か、日本の文字の特徴は何かを考えてみましょう。

友の会

国立民族学博物館友の会 電話06-6877-8893(平日9時～17時) FAX06-6878-3716
http://www.senri-f.or.jp/ e-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

東京講演会

会場 江戸東京博物館 学習室1
定員 50名(要申込)
第95回 1月16日(日) 14時～15時30分
ことばの歴史・ひとの移動史
講師 菊澤律子(民族文化研究部准教授)
語族という言い方を耳にしますが、ことばが同じグループに属するとはどういふことなのでしょう。ことばの分類はなぜ、人の歴史と結びつくのでしょうか。「ことばの連伝子」の分析と応用についてのお話です。

友の会講演会(大阪)

会場 国立民族学博物館 第5セミナー室
定員 96名(当日先着順、会員証提示)
第391回 1月8日(土) 14時～15時30分
ことばの歴史・ひとの移動史
講師 菊澤律子(民族文化研究部准教授)
第392回 2月5日(土) 14時～15時30分
日本におけるチベット研究のはじまり
青木文教のたどった道
講師 長野泰彦(民族文化研究部教授)
仏典を求めてチベットに渡った青木文教は、ラサ市内で4年間を俗人として暮らしながら収集をすすめました。仏典だけでなく1910年頃の現地の人ひとの生活についての映像資料など、さまざまなものを日本へもたらしました。民博に収蔵されている青木文教の資料や彼の生涯について紹介します。

第393回 3月5日(土) 14時～15時30分
ジャワの芸能にみるマハーバーラタ
講師 福岡正太(文化資源研究センター准教授)
古代インドの叙事詩「マハーバーラタ」は、王位をめぐる争う一族の物語です。インドネシア・ジャワ島にも伝わり、多くの芸能の題材となりました。ジャワ芸能は、登場人物の愛憎や喜怒哀楽をどのように描いているのでしょうか。ヒデオなどを用いてご紹介いたします。

国立民族学博物館
ミュージアム・ショップ
電話 06-6876-3112
FAX 06-6876-0875
e-mail shop@senri-f.or.jp
水曜日定休
ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ
「World Wide Bazaar」
http://www.senri-f.or.jp/shop/

今年の冬は暖かいアルパカと過ごしませんか
いま南米のアルパカをつかったセーターやカーディガンや手袋、ベレー帽や耳あて帽などをたくさん取り揃えています。
生後1年のアルパカの産毛は「ベビーアルパカ」とよばれ、非常に柔らかく、保温性に優れています。それをつかった製品は、寒い冬でもほっこりあたたかく、冷えた体と心を包み込んでくれるでしょう。
お気に入りのアルパカを見つけに、ぜひ、ミュージアム・ショップにお越しください。



アルパカの人形	2,625円～
ベスト	12,600円～
手袋	1,575円～
ベレー帽	1,575円～